

The image shows the interior of a Gothic cathedral. In the center, a large, ornate organ is visible, featuring multiple tiers of pipes and a central figure in a niche. The organ is set against a backdrop of tall, dark stone columns and pointed arches. In the foreground, rows of dark wooden pews are arranged in a central aisle that leads towards the organ. The lighting is dramatic, with light streaming in from a window above the organ, creating a sense of depth and grandeur. The overall atmosphere is one of historical and architectural significance.

PROFET QUADRANT

Vol. 4 Moving Average

おことわり

ここで提供されている授業動画のすべての権利は、著作権者に保留されています。

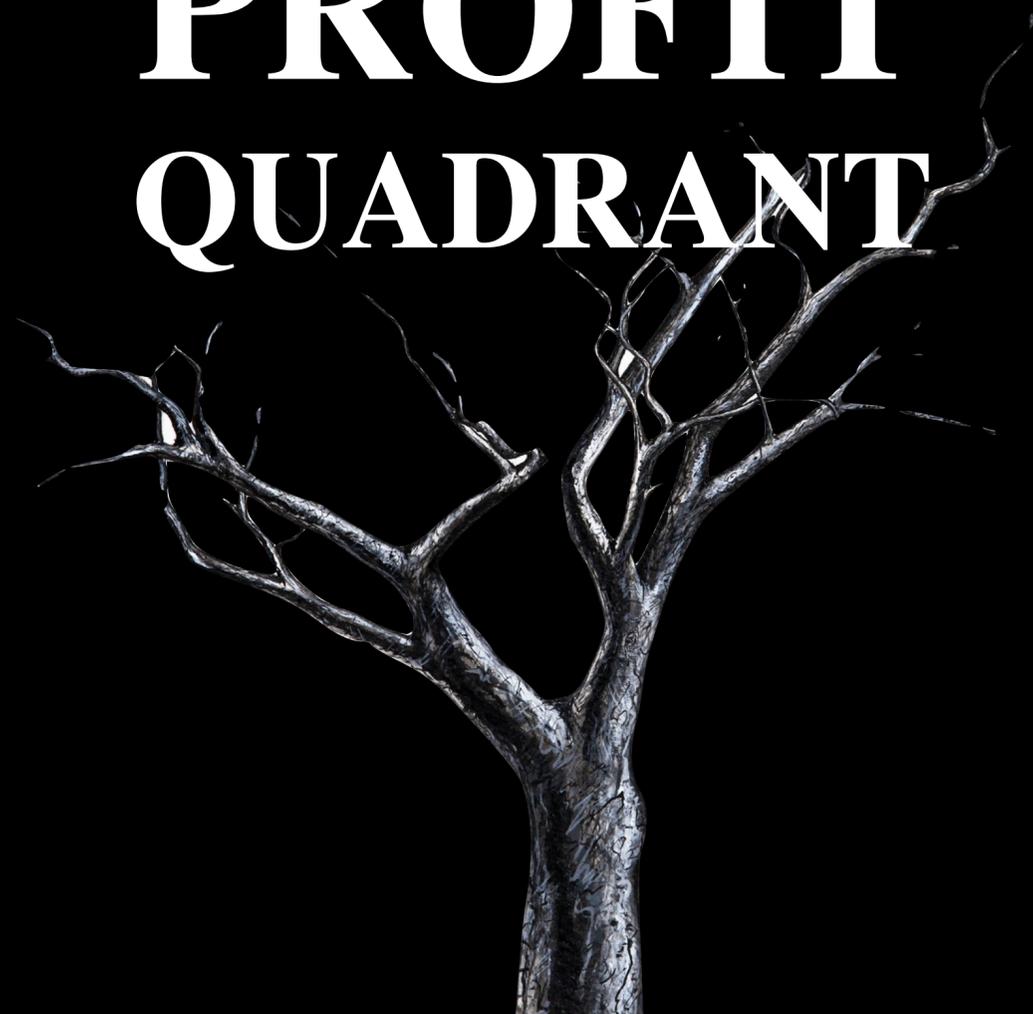
皆様は学習者個人として又、家庭内視聴に限ってのみ視聴することを認められています。

したがって理由の如何にかかわらず提供されたビデオプログラムの一部、または全部の写真の撮影及び録音、録画すること等により複製すること、さらには有線、無線すべての放送を含む公衆通信並びに公開上映する等、すべての行為を禁じます。ご了承ください。

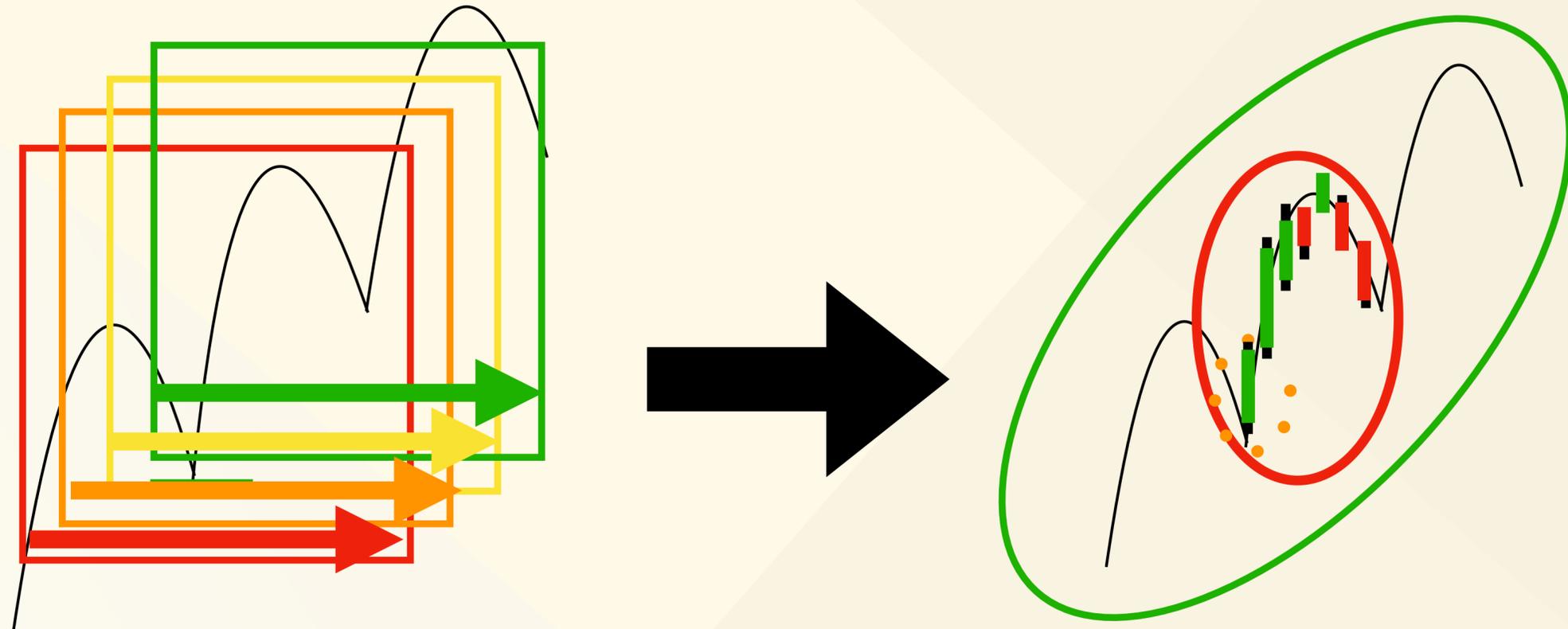
ATTENTION

All content included in this video is subject to Japanese and international copyright law. The copyright proprietor has licensed the video content solely for the purpose of personal education. All other rights are reserved. Any unauthorized reproduction, distribution, public performance or display, or modification of this video and its contents is strictly prohibited for both commercial and non-commercial use.

PROFIT QUADRANT



チャートの捉え方



「チャートの単位」は、チャートを見る上での前提条件。
一般的なインジケータ分析の「期間ごとに区切った分析」とは全く異なり、
チャートを見る目を養うためには「インジケータ思考」を捨てる必要があります。

移動平均線の歴史

移動平均線の概念自体は1901年に

イギリスの統計学者レジナルド・ハウソン・フッカーによって開発されたが、

「移動平均」という名前は自体は、後からつけられたものである。

その後、EMAという概念が生まれ、1960年代初頭に株価分析に応用されるようになる

R. H. Hooker



移動平均線の見る意義



なぜ名だたる世界の投資家たちはなぜ移動平均線を使うのか？



SMA10とSMA50を表示



A candlestick chart with two moving averages (one blue, one red) overlaid. A vertical white line is drawn at a specific point in time. A red circle highlights a green candlestick that is above the blue moving average but below the red moving average. A black double-headed arrow indicates the vertical distance between the top of this candlestick and the red moving average. A yellow circle highlights the red moving average line at the same vertical position.

①MAの期間はいくつか

②ローソク足から
どれくらい離れているか

③上向きか、下向きか

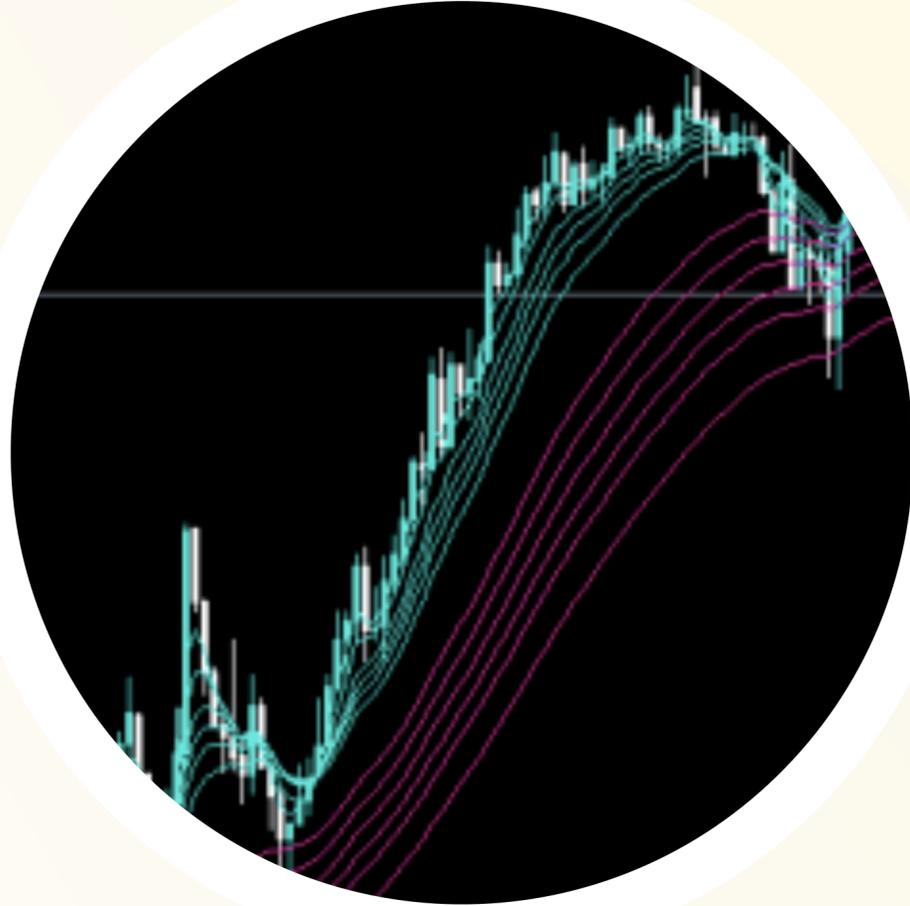


ローソク足10本分

ローソク足50本分

移動平均線の3つの分析軸

①パラメーター



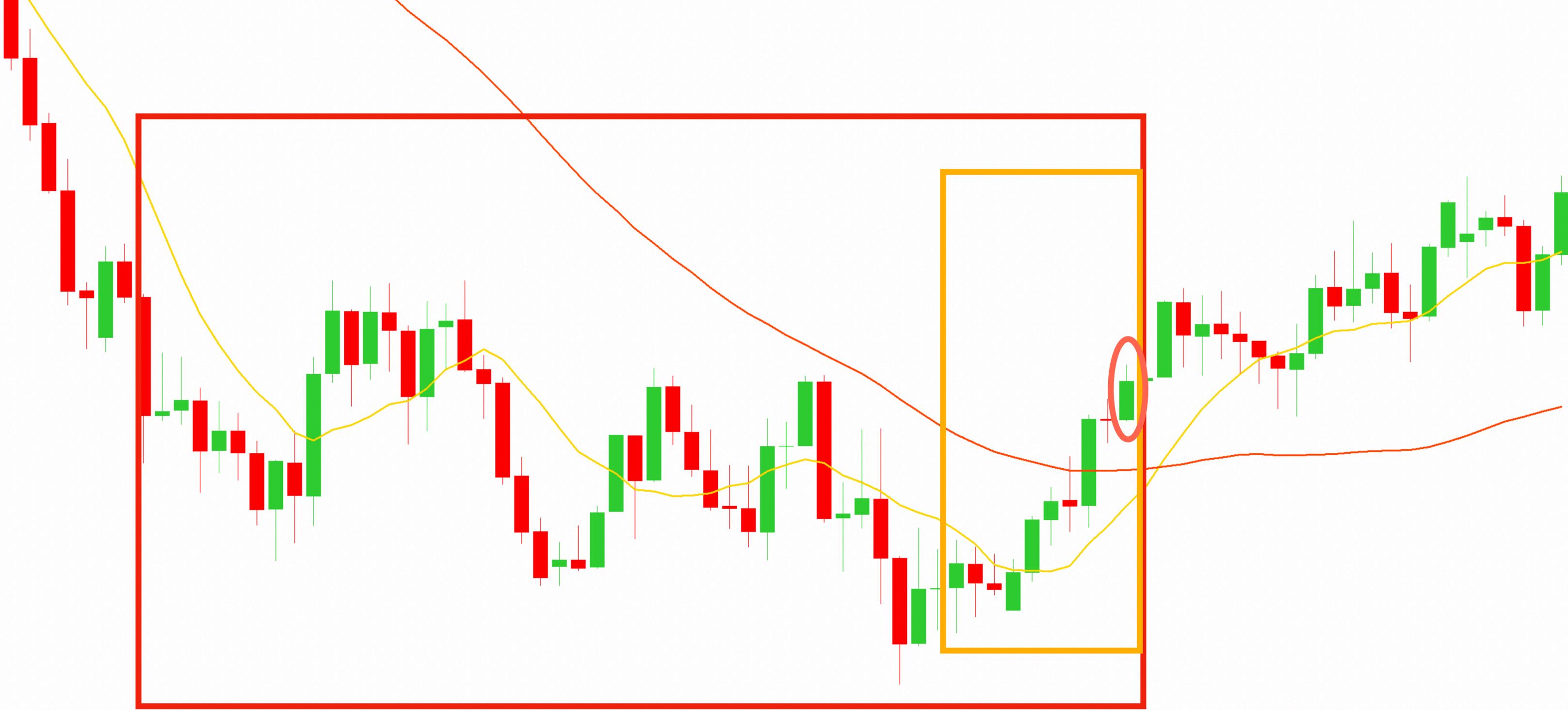
②乖離率



③角度（方向性）





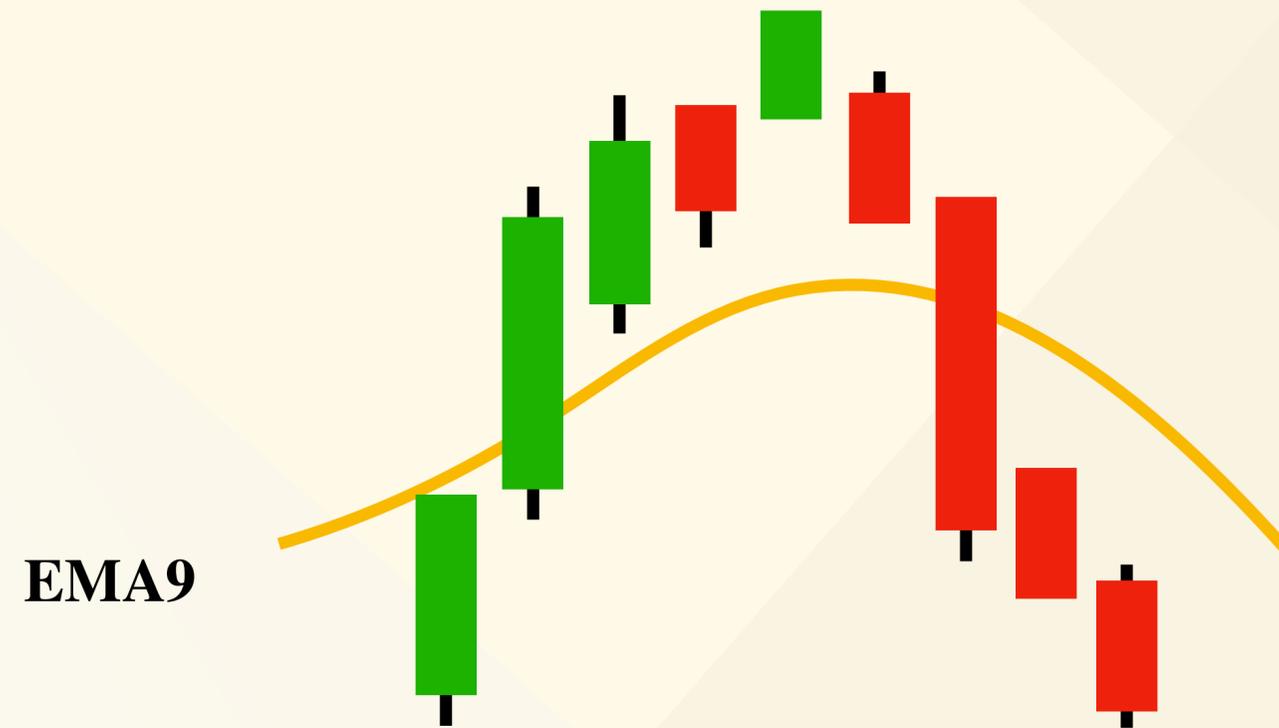


移動平均線の有効な期間と使い方

種類	期間	分析の対象	使い方
短期移動平均線	EMA9	ローソク足	もみ合い、抵抗帯付近のブレイクの判断
中期移動平均線	EMA 62	サイクル	トレンドの勢いを確認 押し目の判断
長期移動平均線	EMA200	チャートパターン (1つの局面)	局面の転換を読み取り 値動きの傾向変化を判断
超長期移動平均線	SMA666	チャート全体	大きな節目の判断

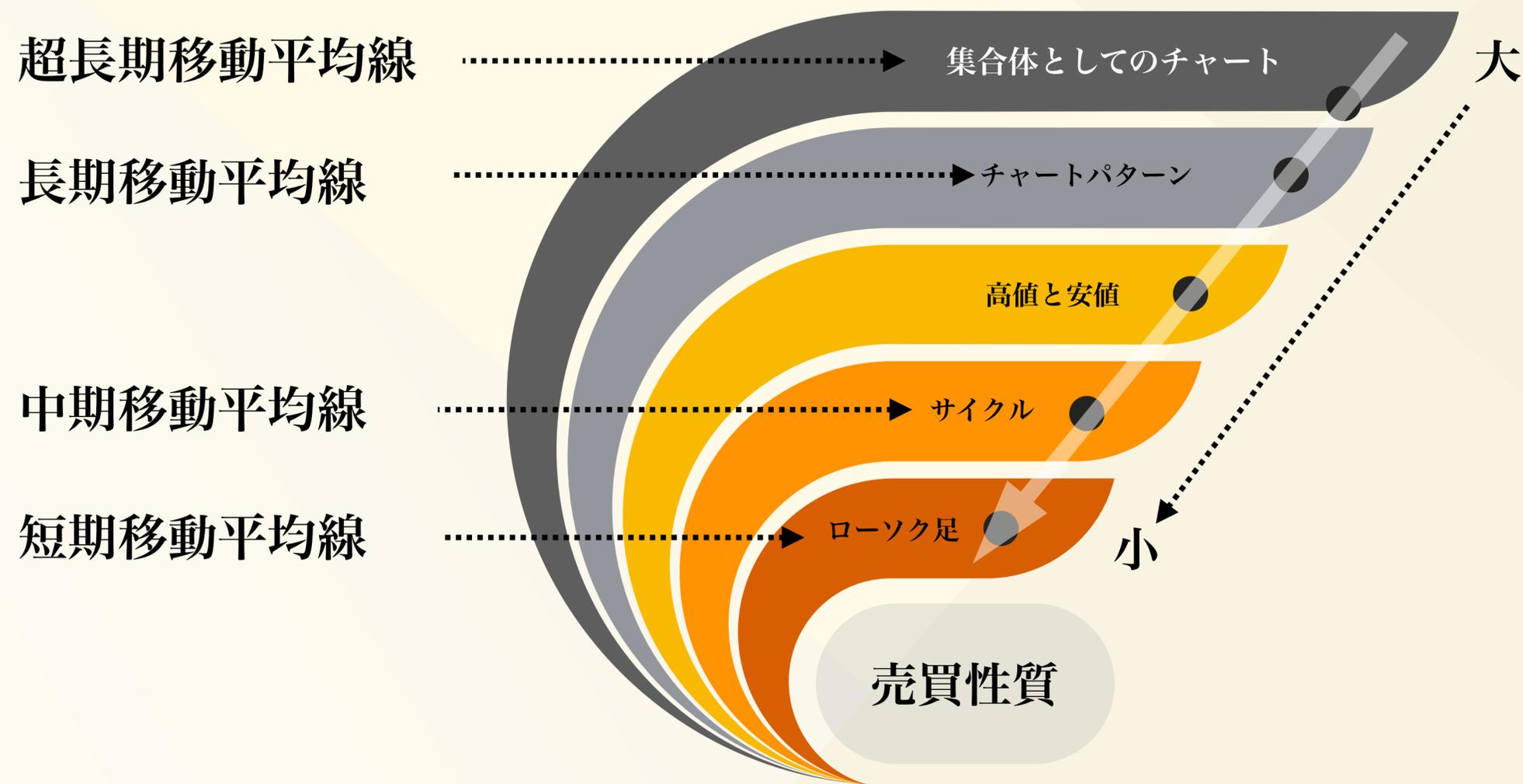
移動平均線と現在足の位置関係、移動平均線の角度を見ることで
「過去どんな流れできて今どんな状態なのか」が一目で判断できる

チャートの単位における移動平均線の役割



EMA9（短期移動平均線）は、サイクルにおけるローソク足1本の相対的位置を表す

チャートの単位における移動平均線の役割



移動平均線の期間の大小によって分析範囲が変わり、指し示す内容も変わる。

プロフィットクワドラントで伝える移動平均線はすべてチャートの単位に連動している。

チャートの単位

ローソク足

サイクル

高値と安値

1つの局面 (チャートパターン)

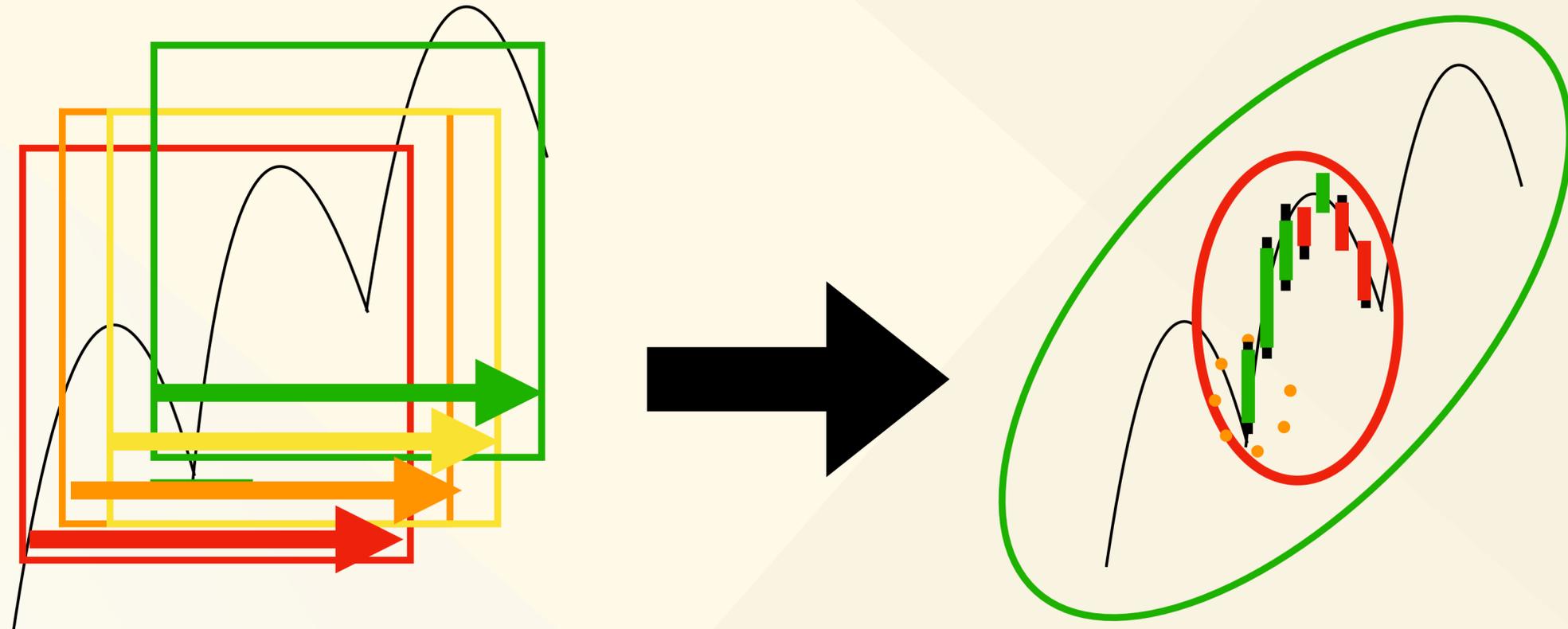
集合体としてのチャート



ローソク足が集まるとサイクルが形成される。サイクルが集まると高安の切り上げ下げが形成される。

高安の切り上げ下げが集まると、1つの局面が形成される。1つの局面が集まると大きなチャートが形成される。

チャートの捉え方



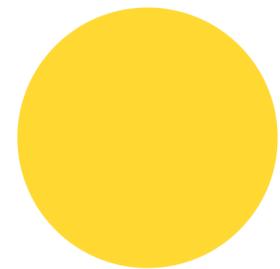
「チャートの単位」は、チャートを見る上での前提条件。
一般的なインジケータ分析の「期間ごとに区切った分析」とは全く異なり、
チャートを見る目を養うためには「インジケータ思考」を捨てる必要があります。

移動平均線の特徴

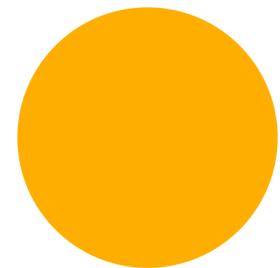
	ブレイクアウト	チャネルトレンド	ボックスレンジ	収縮レンジ	拡散レンジ
移動平均線ゴールデンクロス	×	○	×	×	×
移動平均線順張り	△	○	△	×	×
ボリバン反発	×	※1	○	△	×
オシレーター逆張り	×	×	○	△	×
短期ローソク足パターン	×	○	○	○	×

(※1 上昇トレンド時における下限のみ○ 上限は×)

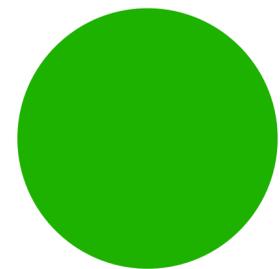
移動平均線の位置関係



短期移動平均線



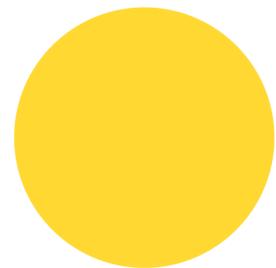
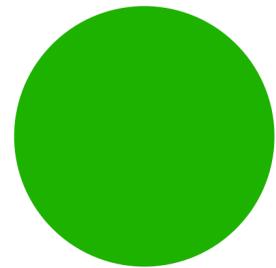
長期移動平均線



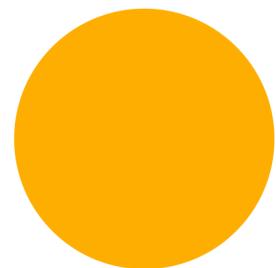
ロースク足

移動平均線の位置関係①

ローソク足→短期→長期

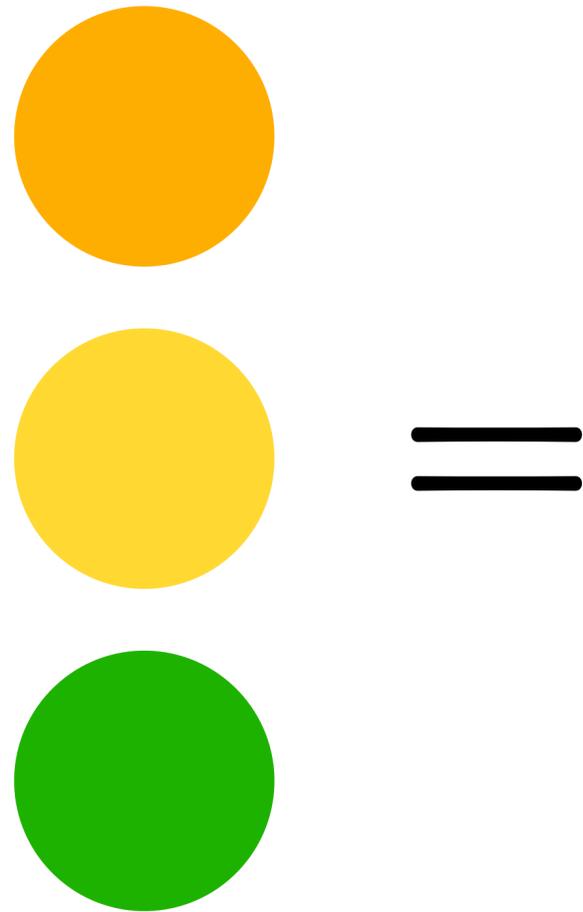


=



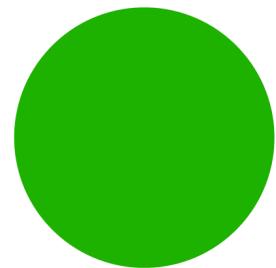
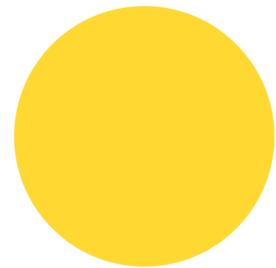
移動平均線の位置関係②

長期→短期→ローソク足

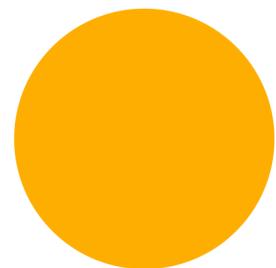


移動平均線の位置関係③

短期→ローソク足→長期

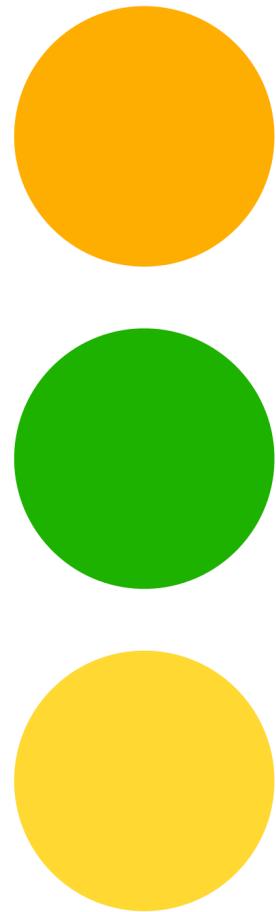


=



移動平均線の位置関係④

長期→ローソク足→短期

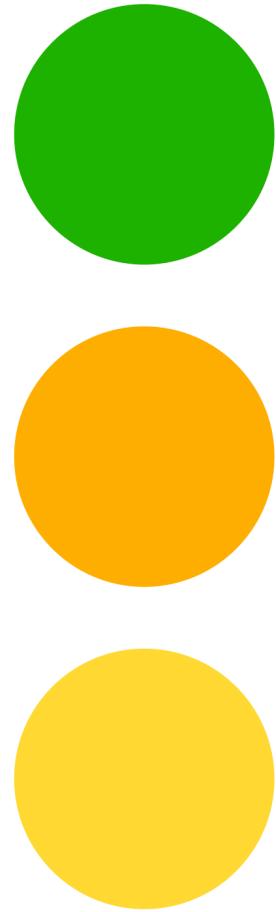


=



移動平均線の位置関係⑤

ローソク足→長期→短期

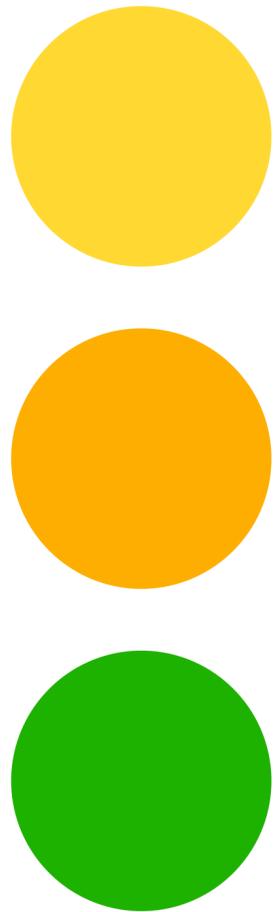


=



移動平均線の位置関係⑥

短期→長期→ローソク足



=



PROFIT QUADRANT

有効な移動平均線の期間



移動平均線の有効な期間と使い方

種類	期間	分析の対象	使い方
短期移動平均線	EMA9	ローソク足	もみ合い、抵抗帯付近のブレイクの判断
中期移動平均線	EMA 62	サイクル	トレンドの勢いを確認 押し目の判断
長期移動平均線	EMA200	チャートパターン (1つの局面)	局面の転換を読み取り 値動きの傾向変化を判断
超長期移動平均線	SMA666	チャート全体	大きな節目の判断

移動平均線と現在足の位置関係、移動平均線の角度を見ることで
「過去どんな流れできて今どんな状態なのか」が一目で判断できる